

北海道浮魚ニュース

令和3(2021)年度2号

2021年4月28日

道総研 水産研究本部 釧路水産試験場

ホームページ：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎第1回日本海スルメイカ長期漁況予報発表される

4月28日、第1回日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されたので概要をお知らせします。今回は本州各府県を主な対象とした漁期前半(5月~7月)の予報です。

なお、この予報は国及び日本海側道府県の水産研究機関が参画し、水産研究・教育機構がとりまとめを行いました。詳細は以下のホームページからご覧になれます。

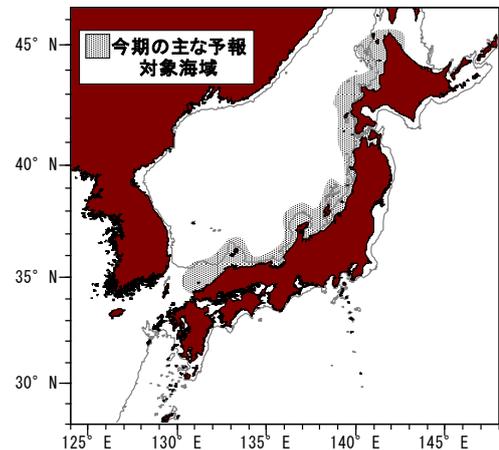
水産研究・教育機構 (<https://www2.fra.go.jp/>)

「我が国周辺の水産資源の現状を知るために」 (<http://abchan.fra.go.jp/>)

今後の見通し(2021年5月~7月)

対象魚種：スルメイカ
対象海域：日本海沿岸域
対象漁業：主にいか釣り漁業
対象魚群：主に秋季発生系群

- (1) 来遊量：前年並で近年平均を上回る。
- (2) 漁期：近年同様
- (3) 漁場：本州北部日本海以北
※近年とは最近5年間(2016年~2020年)
本州北部日本海とは石川県以北



- ・2021年4月に実施したスルメイカ新規加入量調査の結果では、今期漁獲対象になると予測される外套背長5cm以上のスルメイカの1調査点あたりの採集尾数は3.7尾で、前年(0.7尾)を上回り近年平均(6.9尾)を下回った。
- ・2020年10月に実施したスルメイカ稚仔調査Iでは、幼生の分布密度は前年及び過去5年(2015年~2019年)平均を上回った。
- ・2021年度第1回日本海海況予報では、漁場形成に影響を与える4月中旬~6月の対馬暖流域の表面水温と50m深水温は、共に平年よりも「かなり高め」と予測されている。
- ・2020年5月~7月の小型いか釣り等によるスルメイカ(生鮮)の漁獲量は、日本海沿岸域全体で過去5年(2015年~2019年)平均を上回った。
- ・本年度の新規加入量調査結果は前年を上回ったものの、前年度の調査結果は実際の来遊量に対して過小であったと考えられ、本年度の来遊量が前年度を上回るとは考えにくい。

今後の北海道日本海へのスルメイカ来遊状況に関しては、函館水試調査船金星丸により実施する5月下旬の日本海北上期調査および6月下旬の日本海漁場一斉調査の結果も参照して下さい。また、漁期後半については7月に第2回日本海スルメイカ長期漁況予報が発表される予定です。その他の情報とともに、随時浮魚ニュースでお知らせします。

(釧路水産試験場調査研究部、TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225)